

2014年3月期 第3四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

◆コストについて

Q. 前年対比で為替の影響を除いたコスト増が144億円ということですが、（前回）見通し対比の結果を教えてください。

A. 第2四半期まで50億円のコスト削減を行いました。第3四半期では整備費などが増加した結果、25億円のコスト増となりましたが、部門別採算制の浸透などにより共通経費を約10億円削減することが出来ました。引き続きコスト削減に努めます。

Q. なぜ燃油費を除いたユニットコストを管理しているのか教えてください。

A. 燃油費を含めたユニットコストは、燃油単価自体の変動及び為替の影響を大きく受け易く、当社の実態に見合った生産性やコスト競争力の把握及び、コストコントロールが困難となるためです。当社は営業利益率10%以上という目標値のみならず、他にも様々な指標を用いてコストも含めた経営管理を行っていることをご理解いただきたいと思います。

◆国際線について

Q. 国際線のビジネスクラスとエコノミークラスの旅客数について、第3四半期までの実績と第4四半期の予約状況についてそれぞれ前年対比で教えてください。

A. 第3四半期までの旅客数の実績はビジネスクラスが約+7%、エコノミークラスが約+3%でした。第4四半期の予約状況はビジネスクラス、エコノミークラス共に旅客数はほぼ前年並みとなっております。

Q. 来季の国際線の単価見通しについて教えてください。

A. 具体的な方向性については現在、計画を策定中です。

◆国内線について

Q. 第3四半期の国内線の単価が前年対比で下がっている理由を教えてください。

A. 主に個人と比較して単価の安い団体旅客が堅調であることに加え、10月27日より「特便割引21」の新規設定、年末の割引運賃の設定拡大等によって個人券種内での需要喚起型運賃の構成比が上昇したことが主な理由です。

Q. 第4四半期の国内線の旅客数と単価の前提をそれぞれ前年対比で教えてください。

A. 第4四半期も基本的には第3四半期までのトレンドが継続すると考えており、旅客数については約+3%、一方で単価についてはやや下がる見通しとなっております。

Q. 来季の国内線の単価見通しを教えてください。

A. 国内線は機材をダウンサイジングすることによって需給調整を図ります。従いまして来季の単価は基本的に維持されると見込んでおりますが、需給調整の結果次第では若干上がる可能性もあると現時点で考えています。

Q. 4月以降の国内線の運賃を据え置くことが、収入の最大化に繋がると判断された理由を教えてください。

A. 第1四半期は閑散期でありもともと需要が弱く、加えて4月以降は消費税が増税される中で、運賃の値上げを行った場合、更なる需要の落ち込みが想定されること、また新幹線との競争状況なども踏まえ、少なくともこの時期は運賃を上げずに据え置くことが収入の最大化に繋がると判断しました。尚、7月以降については、来年度収支計画や需要動向等に基づき判断していきます。

◆株式分割について

Q. 株式分割により株主割引券が増えますが、どのような影響を見込んでいるか教えてください。

A. 今回、個人株主比率の増加を目的として株式分割を実施します。これに伴い株主割引券は増えますが、10単元以上保有している株主への配布基準により株主割引券の増加は約1.7倍から1.8倍に留まると考えています。尚、株主還元について当社は、配当で還元するということを基本方針としております。当社は株主割引券についても一般的な割引運賃同様、混雑具合によっては販売座席に制限を設けており、収益への影響をコントロールすることで収入最大化を図っております。尚、今回の株式分割により株式購入価格が下がり、新規の個人株主が増え、収入の増加に繋がることを期待しています。

◆その他

Q. 配当金の計算について、なぜ連結当期純利益から法人税等調整額を除くのか教えてください。また、法人税等調整額150億円が期末に急増することはないのか教えてください。

A. 従来、当社は配当金総額として、連結当期純利益の20%程度を株主の皆様への配当に充てる意向としていましたが、今期以降は連結当期純利益から法人税等調整額を除いた額の20%程度を株主の皆様への配当に充てる方針へと変更します。これは今期末決算において税効果会計に基づく法人税等調整額の多額の計上を予定しており、当期純利益の大幅な変動が見込まれる為です。税効果会計はその性質上、将来事象の予測や見積りに依拠しており、今後の状況変化により、繰延税金資産に大幅な変動がありうるため、配当金計算には含めないこととしました。尚、150億円という金額については確定値ではなく、期末に向けて今後、精査が必要となりますが、現段階では大きく異なることはないと思っております。

以上